

氏名	坂口 公太
学位の種類	博士（医学）
学位記番号	甲第700号
学位授与年月日	令和8年3月19日
審査委員	主査 教授 深見 達弥 副査 教授 加藤 太陽 副査 准教授 河村 敏彦

論文審査の結果の要旨

質的研究は、患者や医療者の主観的な経験を深く理解するために不可欠な手法であるが、膨大な逐語録の解析には多大な時間と労力を要することが課題となっている。近年の生成AI技術の発展に伴い、大規模言語モデル（LLM）の質的研究への応用が期待されているが、特に日本のような独自の文化的背景を有する臨床現場において、AIがどの程度妥当な解析を行えるかについては十分に明らかにされていない。本研究では、日本人医師を対象とした「臨床現場における神聖な瞬間（Sacred Moments）」に関するインタビュー30例の逐語録を対象に、生成AI（ChatGPT）と複数の人間（熟練した質的研究者）による主題分析（Thematic Analysis）の結果を比較検証した。分析の結果、AIは主要なテーマの抽出において人間と83%以上の高い一致率を示し、特に頻出する記述的テーマの特定において高い実用性を有することが示された。一方で、日本固有の文化的文脈や情緒的なニュアンス（「言葉にできない経験」や「運命」など）に関連するテーマにおいては、一致率が30%未満に留まり、AI単独での解析には限界があることも定量的に浮き彫りにした。また、本研究は質的研究の厳密性を担保する「Trustworthiness」の基準を遵守しており、AIの回答の再現性確認や、同一プロンプトによる複数回試行を通じた一貫性の検証を行うことで、手法論的な妥当性を高く維持している。生成AIを質的研究に導入する際の有用性と限界を、日本の臨床文脈において初めて学術的・定量的に示したものであり、今後の医学教育および臨床研究の効率化と質向上に寄与する価値の高い研究であると思料され、博士（医学）の学位授与に値するものと判断した。